

## 2021年度 第6回 CPC研究会 オンデマンド配信

日 時 : 11月15日(月) ~ 19日(金)  
視聴方法 : 申し込みをされた方に、配信 URL をご連絡いたします。  
なお、配信 URL の再配布、動画のダウンロードや録画は禁止です。  
料 金 : 維持会員・大学官公庁関係=無料 / 非会員=30,000 円  
申込締切 : 11月9日(火)

<http://cpc-society.org/>

### 「焼酎かすを利用したエネルギーデバイスの開発とベンチャー企業の紹介」

福岡工業大学 田島 大輔 氏

- 1) 焼酎の製造・消費と「かす」の処理問題
- 2) 焼酎かす活性炭の表面官能基制御とキャパシタの開発
- 3) 焼酎かす以外の廃棄物を使った地域での実用化例
- 4) 焼酎かす活性炭の賦活処理方法の検討とキャパシタの開発
- 5) 焼酎かすでエネルギーデバイスを製造するベンチャー企業の紹介

まず、九州地域における焼酎かすの現在の処理方法と課題について述べます。2 つ目に、焼酎かすからの活性炭作製方法について、細孔制御や表面官能基制御に関する基礎研究について述べます。3 つ目に電気二重層キャパシタとしての性能について紹介し、最後に、金属空気燃料電池と組み合わせたエネルギーデバイスを産業化するため、鹿児島県に設立されたベンチャー企業の紹介や酒造会社・組合との連携、大学との関わりについて述べます。

### 「木質バイオマスの高度有効利用

～バイオ燃料と炭素材料等の併産プロセスへの展開」

産業技術総合研究所 坂西 欣也 氏

- 1) 木質バイオマス利用の現状とポテンシャル
- 2) 木質バイオマスからのバイオ燃料製造
- 3) 木質バイオマス等からの炭素材料の製造
- 4) バイオ燃料と炭素材料の併産プロセスに向けて

木質バイオマスは再生可能エネルギーの一翼を担う天然炭化水素資源で、日本でも豊富な資源量を有しています。現在は FIT(固定価格買取制度)の影響で燃焼して電力に変換される木質バイオマス量が増大していますが、本来は木工原料や木炭、薪等として利用されてきました。産総研では、未利用の木質バイオマスの水熱処理とメカノケミカル処理等を組み合わせた前処理により、セルロース、ヘミセルロース及びリグニンを成分分離して、前二者は糖化・発酵によってバイオエタノール、リグニンは炭素材料とする併産プロセスを開発しています。本講演では、その概要を紹介いたします。

---

CPC 研究会 講演会事務局 行 e-mail: [sec@cpc-society.org](mailto:sec@cpc-society.org) または FAX: 029-861-8936  
2021年度第6回研究会のオンデマンド視聴を希望します。

お名前: 維持会員 非会員 大学関係

ご所属:

Tel:

Fax:

E-mail: